

平成24年度補正 ICT街づくり推進事業

# よなごスマートライフ・プロジェクト 推進事業の取り組み紹介

平成26年5月14日(水)

代表提案団体

米子市

プロジェクトマネジメント



Cable  
Communication

中海テレビ放送

# 事業概要

# 地元の産官学と県外企業の連携により事業実施

(順不同)

## 代表提案団体

- ・ 米子市

## 共同提案団体

- ・ 鳥取県
- ・ 国立米子工業高等専門学校
- ・ 株式会社 中海テレビ放送【プロジェクトマネジメント】
- ・ NTTコミュニケーションズ株式会社

## 事業協力団体

- ・ 株式会社 ユビテック
- ・ 古河電気工業株式会社
- ・ 長沼商事株式会社
- ・ 大崎電気工業株式会社
- ・ 日本ラッド株式会社
- ・ 株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク
- ・ 東亜ソフトウェア株式会社
- ・ 株式会社ケイズ
- ・ 日産プリンス鳥取販売株式会社
- ・ 岡田電工株式会社

# 事業目的は、新たな生活価値を創出すること

本委託事業では、以下に示す住民サービスに関する実証プロジェクトを実施することで、自治体とケーブルテレビ局、市民が、平時・災害時にICTを活用して連携し、放送・通信・エネルギーの融合による新たな生活価値を創出することを目的とする

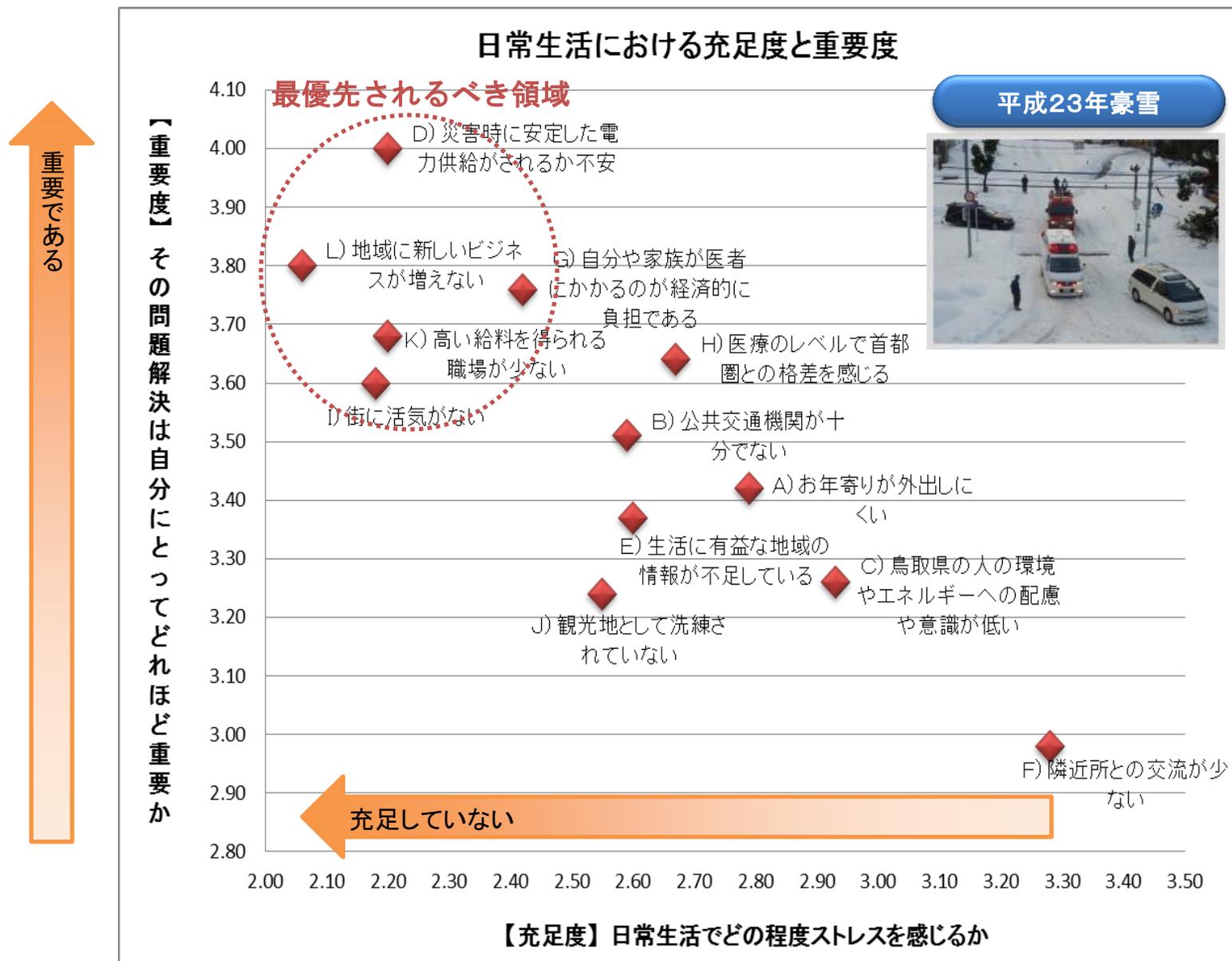
## 平時

- ・ ライフスタイルに応じた節電支援とエネルギー地産地消
- ・ 個人と専門機関が連携した健康管理
- ・ 個人の健康に応じた環境測定情報提供

## 災害時

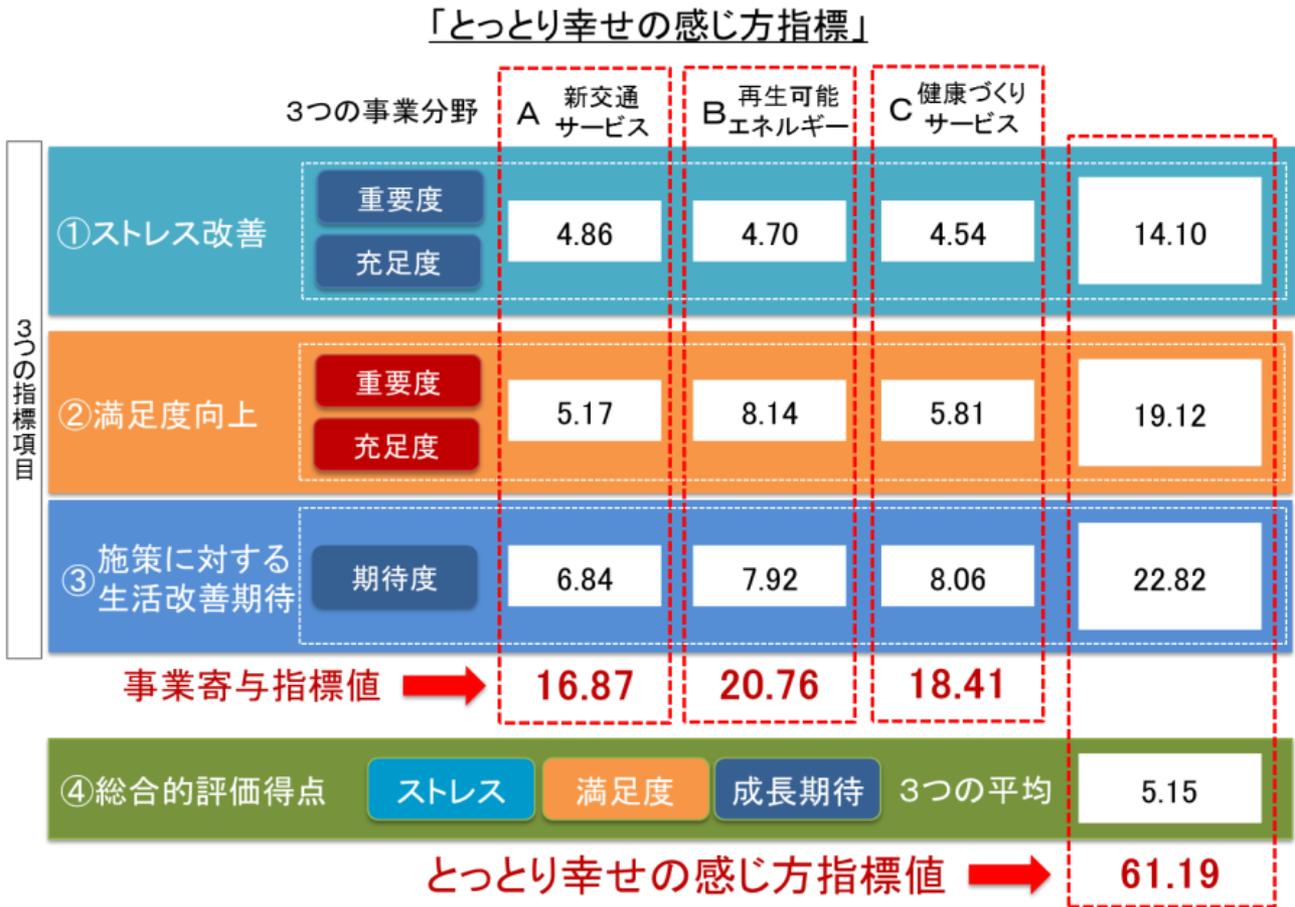
- ・ テレビによる情報弱者への個別災害情報提供
- ・ 停電時の避難所・EVへの電力供給
- ・ カーシェアEVによる要援護者の避難支援

# 地域の課題は、災害時の電力供給と健康づくり



# 達成目標は「とっとり幸せの感じ方指標値」2.5ptアップ

- 「とっとり幸せの感じ方指標値」とは、鳥取発次世代社会モデル創造特区において“暮らしの豊かさ”を指標化したもの
- 2.5ptアップは、特区事業における目標(7.5ptアップ)の1/3を達成する水準

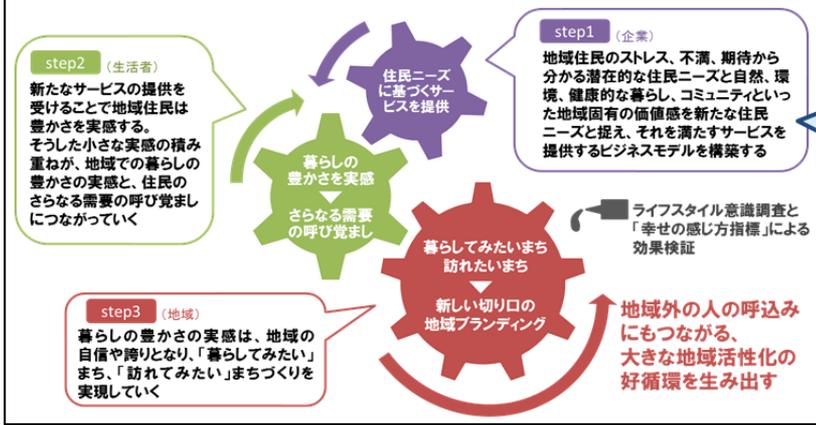


# 特区事業ではe-モビリティ交通サービスを推進

(目標)

- 生活者視点に立った鳥取発次世代社会モデルを適用し、地域の強みと住民のニーズを独自のビジネスモデル構築手法により結びつける取組を展開することで、新たな生活価値の実感が得られる新事業を創出する
- 新たな生活価値に基づくサービス等の提供により、地域住民の「暮らしの豊かさ」に対する意識(満足度)の向上を図る

【目指す地域像】 需要の呼び覚ましによる地域活性化の好循環



【事業の内容】

## とっとりスマートライフ・プロジェクト

豊かさを実感できる暮らしの実現に効果的なテーマを生活者視点から設定して各種モデル事業を実施することで、地域課題の解消と新事業の創出の好循環を生み出していく起点となるプロジェクトを実施していく

【モデル事業①】

商店街の利便性を高めるe-モビリティ交通サービス

【モデル事業②】

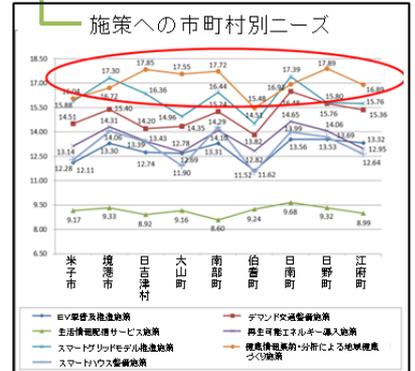
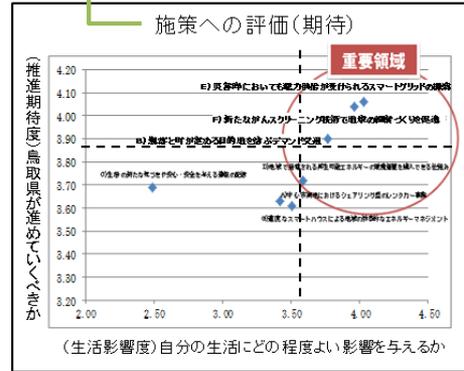
再生可能エネルギーによる災害時集落無停電サービス

【モデル事業③】

健康情報を高度利用する健康づくりサービス

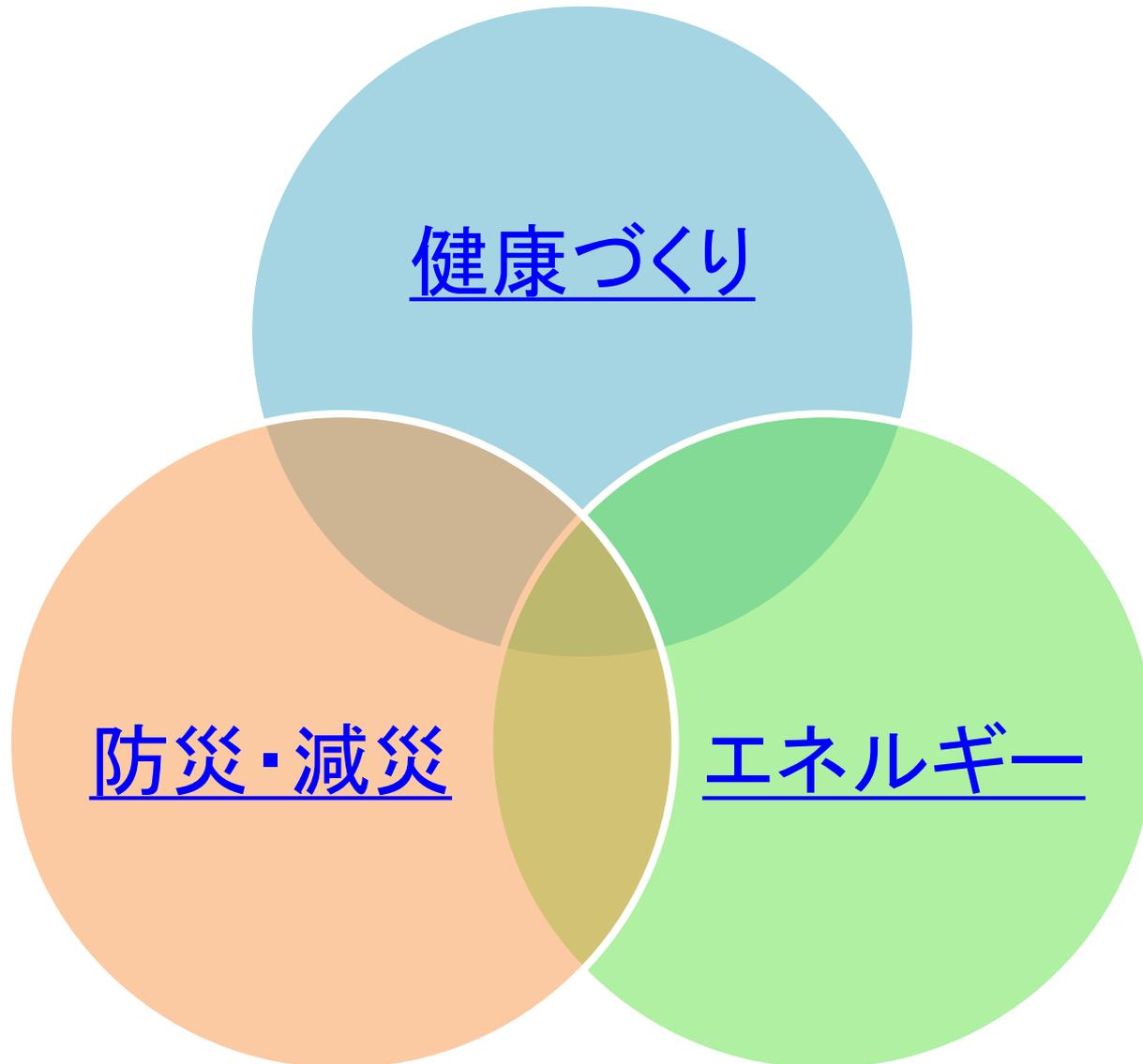
住民ニーズが高く、取組を支える地域資源があるものをモデル事業に選定

## 【区域：鳥取県西部圏域】



# 実証プロジェクトの紹介

# 本事業における3つのキーワード



# 市内60世帯に実証機器を設置



体組成計



血圧計



活動量計



タブレット端末



HEMS



赤外線学習リモコン



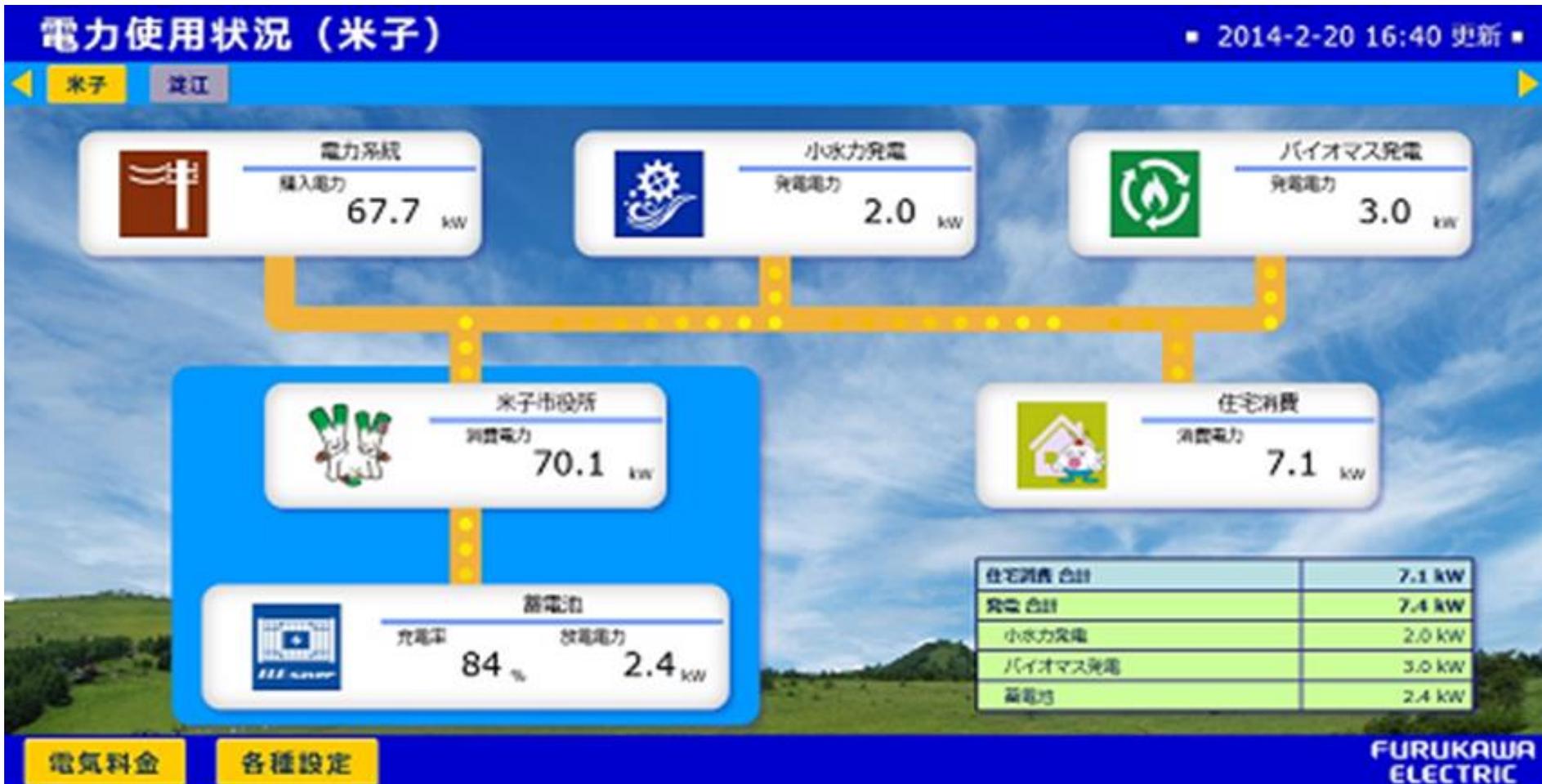
TVテロップ

# 実証プロジェクトの実施結果

# ①エネルギー分野

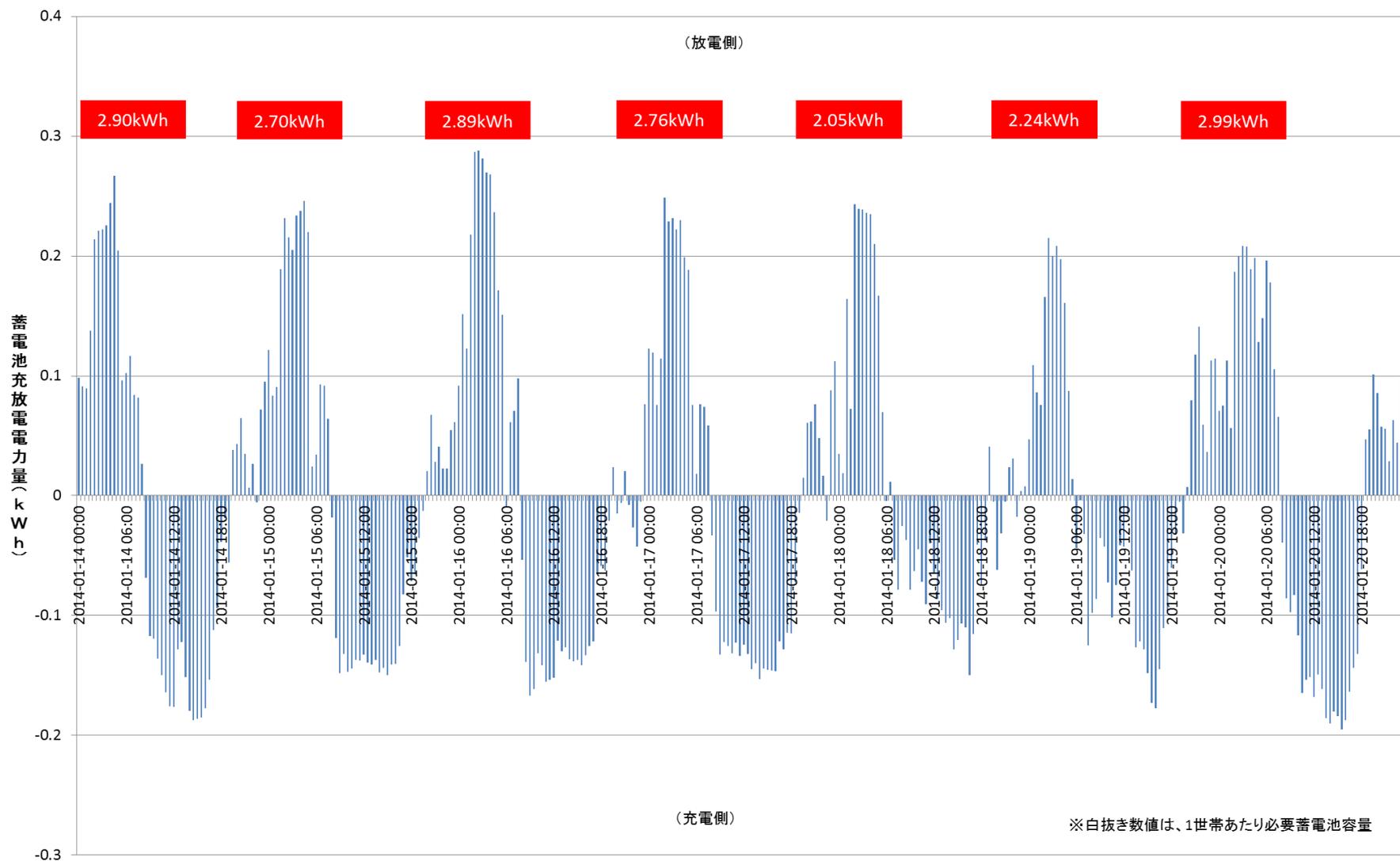
# 蓄電池充放電により30分同時同量を達成

- HEMSと連動した蓄電池充放電システムの運用実証



# 住宅用蓄電池であれば3kWh程度の容量が必要

1世帯あたり蓄電池充放電 必要容量シミュレーション(2014/1/14~1/20)



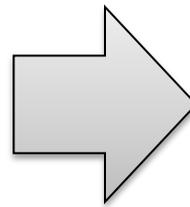
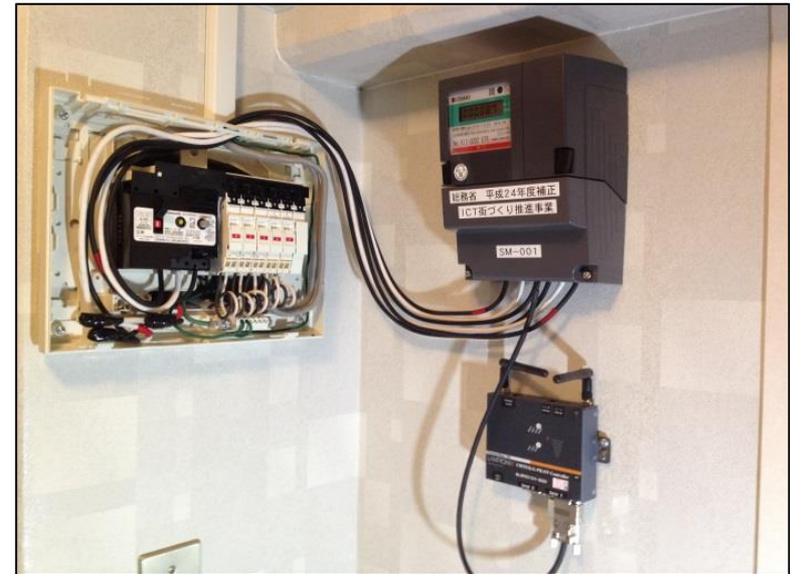
# 電力センサを検定済スマートメーターに更新

- 1分間隔でのデータ取得
- 機器設置や通信状況等に関する課題を把握

電力センサ



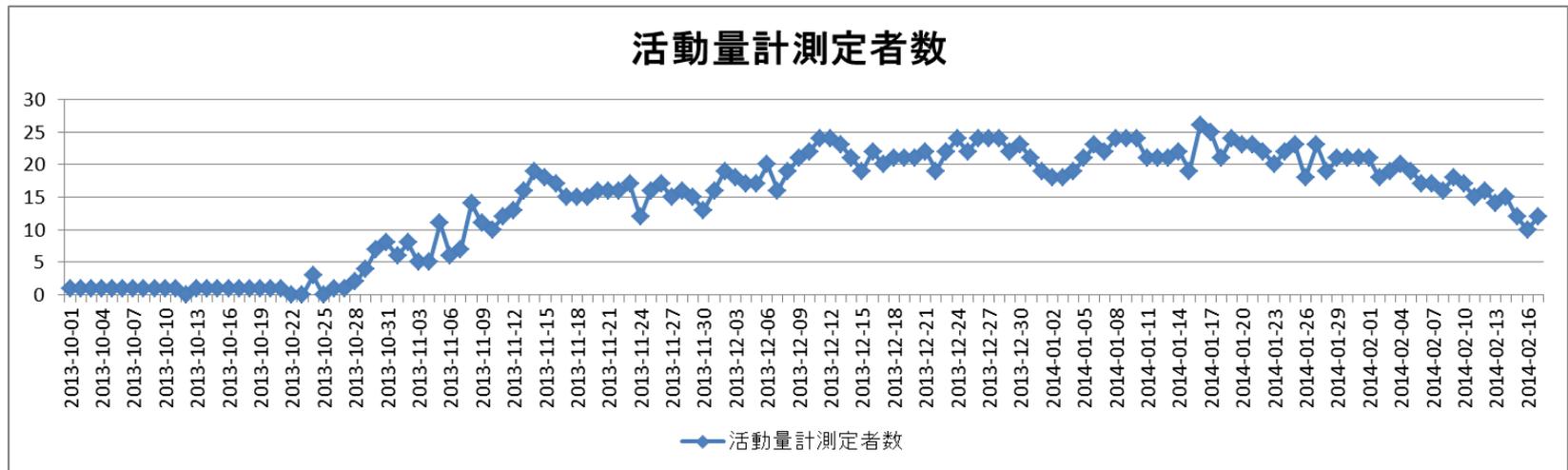
スマートメーター



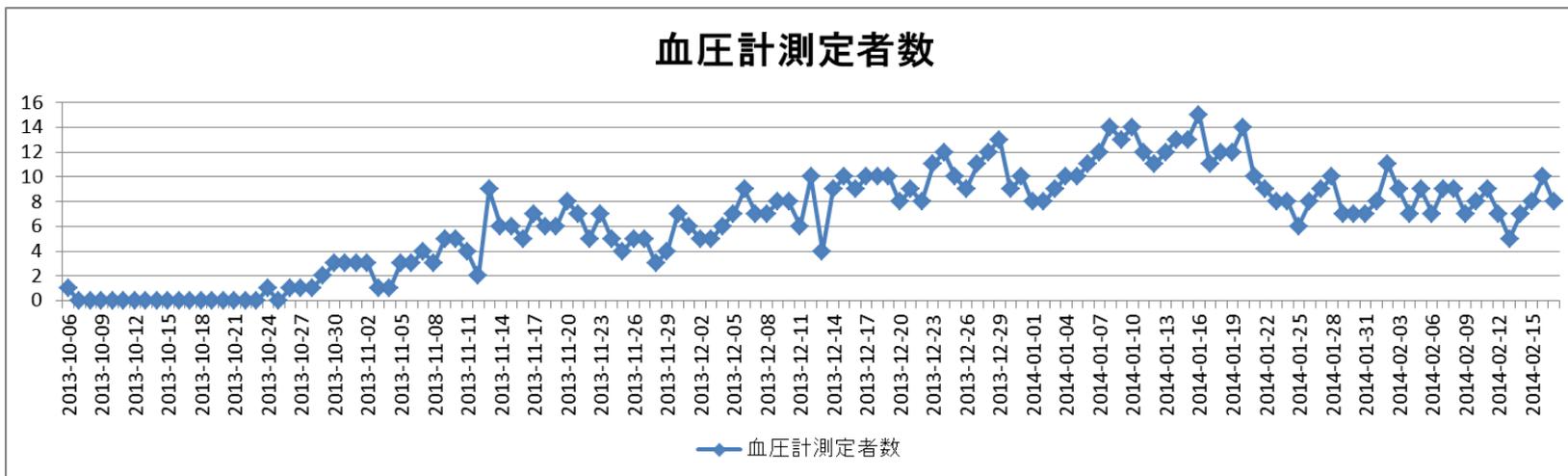
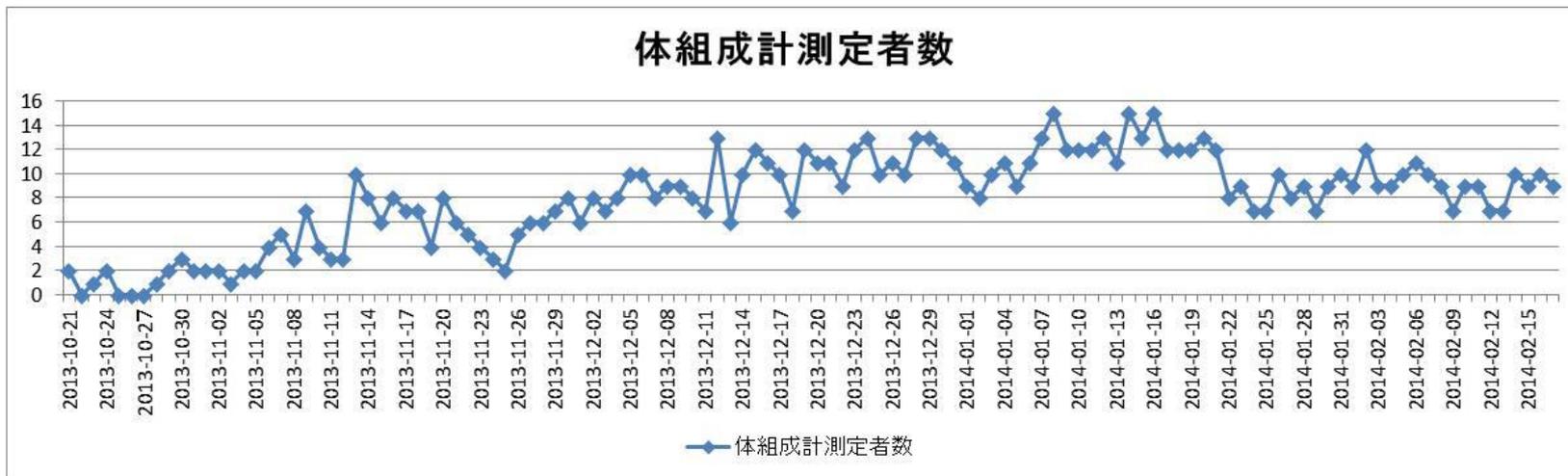
## ②健康づくり分野

# 最も利用頻度が多かったのは活動量計

- 商用サービスとして利用する可能性があるのは全体の42.5%の割合(利用希望金額:平均562円/月)
- ただし、データ登録方法に課題あり(自動データ登録のニーズが高い)
- ランキング形式の導入によるゲーム性の付加は好評

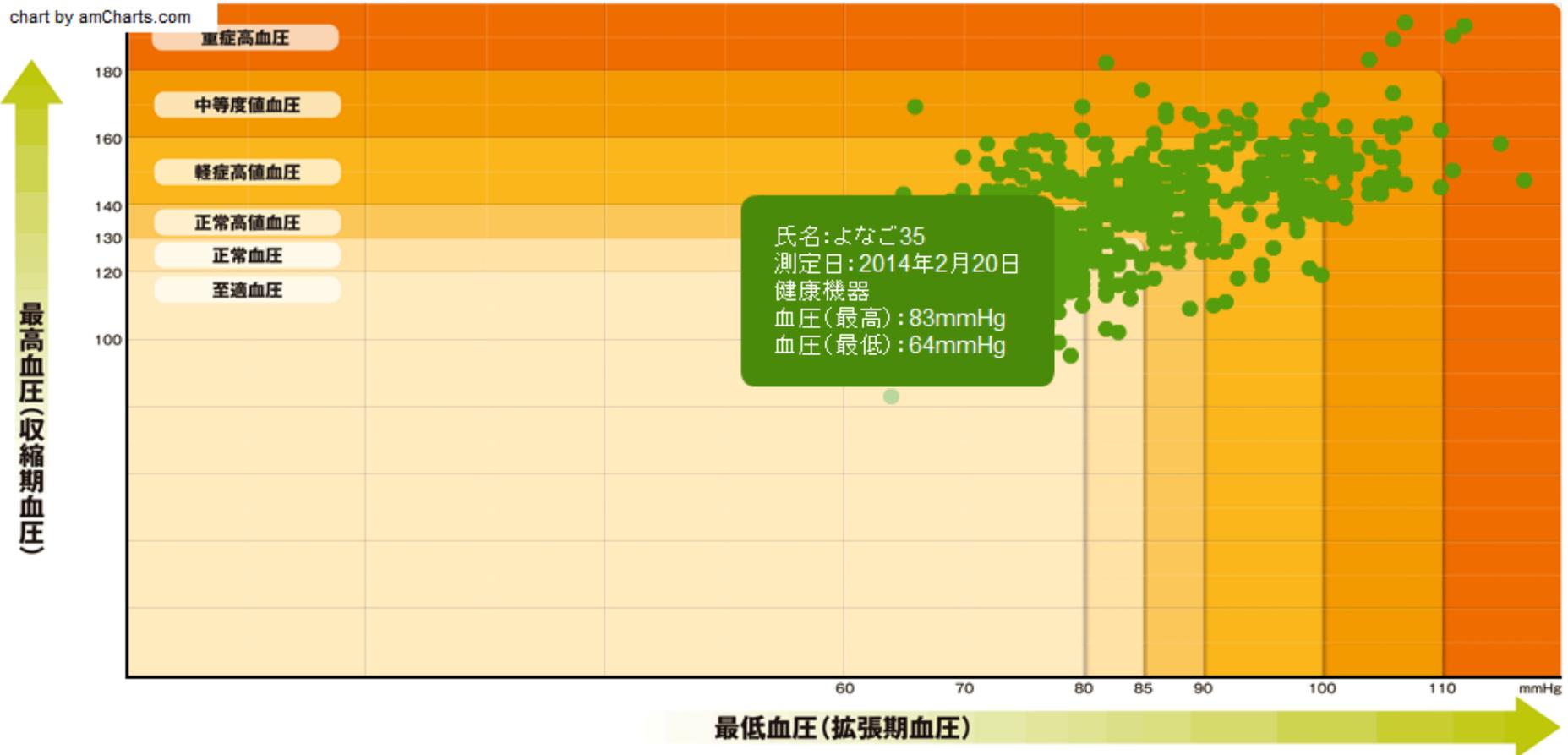


# 体組成計や血圧計は必要性の高い人が継続利用



# 未病データは医療機関でも貴重なデータ

- 医療機関と連携したサービス化の可能性を確認



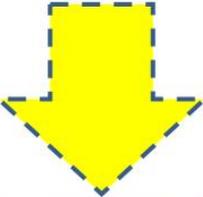
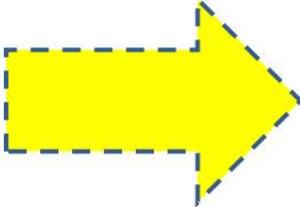
# ③防災・減災分野

# 停電時を想定し、市役所災害対策本部へ電力供給

- 最大3kW使用で約2日分の蓄電容量を常時確保

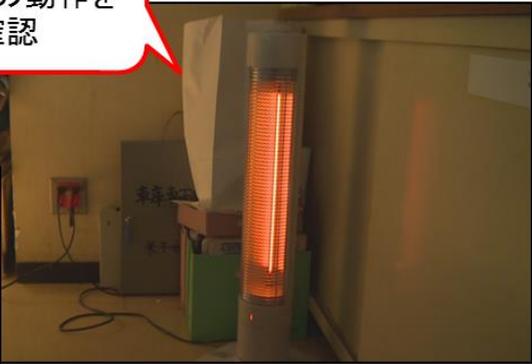


模擬停電のうえ  
定置型蓄電池を  
自立運転



市防災安全課  
の衛星通話端  
末等を稼働

照明・暖房・通  
信機器の動作を  
確認

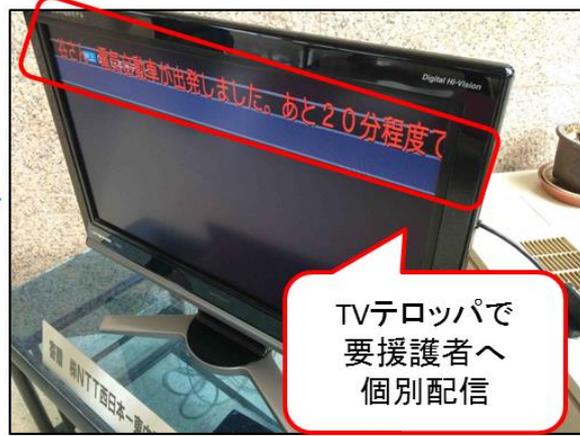


# 停電時を想定し、淀江支所（避難所）へ電力供給

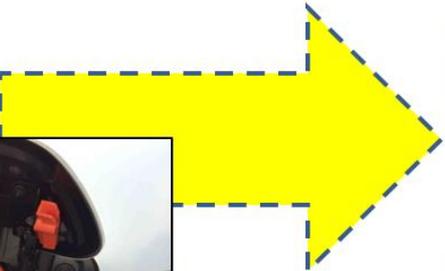
- 電気自動車が、要援護者・避難物資と電力を運ぶ



手前のPCから公共情報 commons へ情報発信



TVテロップで要援護者へ個別配信



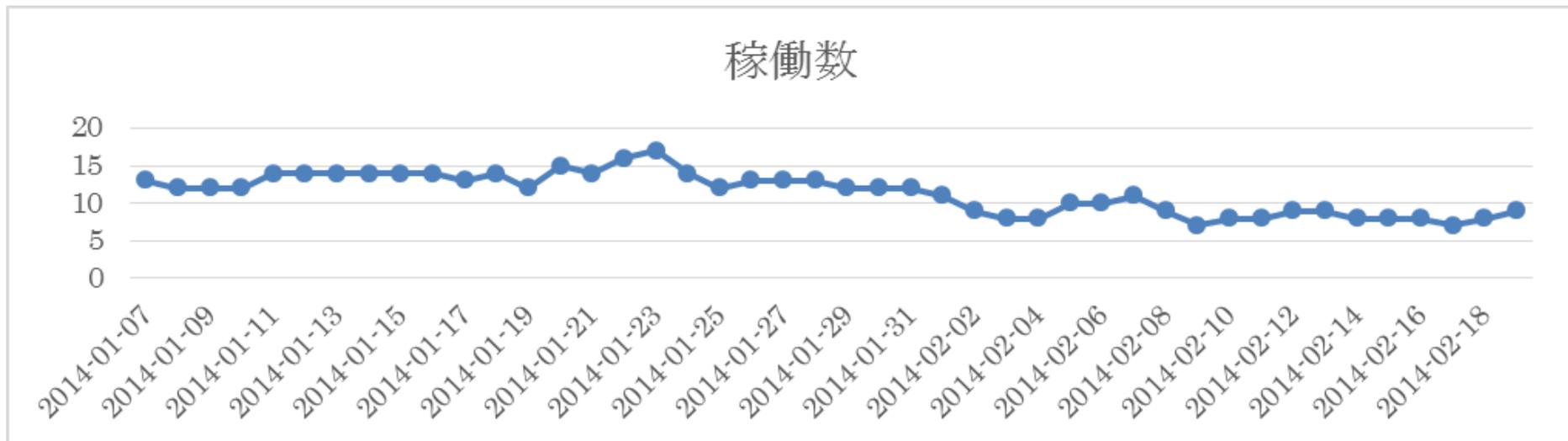
EVをスタンドに接続し、屋内の非常用コンセントへ電力供給



要援護者を避難所内へ搬送  
照明や暖房は全て非常用電源から

# 災害時には多様な情報発信手段が必要

- TVテロップで災害情報が届くのは、最大で設置世帯の25%程度
- 行政防災無線のほか、放送や通信等を用いた多様な情報発信手段が必要（データ放送、HP、メール、SNS等）



## ④共通プラットフォーム

# 共通IDにより、公共・民間のサービスを利用



よなごスマートライフプロジェクト



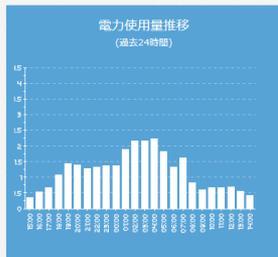
緊急災害情報



米子市からのお知らせ

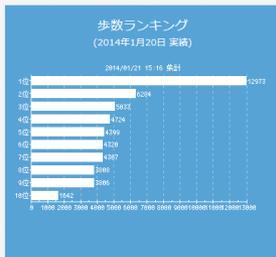


トリピーメール情報



一般家庭平均使用電力 (kWh)  
Measurement Time  
2014年1月21日 14:00 現在

0.41



積算歩数 (歩)  
Measurement Time  
2014年1月21日 15:16 現在

7,062,878



鳥取県米子保健所 PM2.5 (µg/m3)  
Measurement Time  
2014年1月21日 14:00 現在

21



緊急災害情報(最新10件)

ただいま緊急災害情報はありません。



米子市からのお知らせ(最新10件)

2014年1月17日 09:39  
使用料・手数料改定のお知らせ  
消費税・地方消費税の税率の改定に伴い、米子市の使用料・手数料の一部を改定し、平成26年4月1日から引き上げることとなりました。

2014年1月13日 10:30  
ホームページ閲覧障害のお知らせ  
1月12日午後5時から1月13日午前10時頃まで、システム障害により、ホームページが閲覧できませんでした。ご利用の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

2014年1月13日 10:30  
ホームページ閲覧障害のお知らせ  
1月12日午後5時から1月13日午前10時頃まで、システム障害



トリピーメール情報(最新10件)

2014年1月21日 11:36  
地方海上警報

2014年1月21日 10:13  
気象注意報

2014年1月21日 05:41  
地方海上警報

2014年1月20日 23:39  
地方海上警報

2014年1月20日 20:33  
気象注意報

2014年1月20日 17:35  
地方海上警報

共通IDの管理

電力情報

健康情報



よなごスマートライフプロジェクト



緊急災害情報



米子市からのお知らせ



トリピーメール情報



一般家庭平均使用電力 (kWh)  
Measurement Time  
2014年1月21日 14:00 現在

0.41



7,062,878



21



緊急災害情報(最新10件)

ただいま緊急災害情報はありません。



米子市からのお知らせ(最新10件)

2014年1月17日 09:39  
使用料・手数料改定のお知らせ  
消費税・地方消費税の税率の改定に伴い、米子市の使用料・手数料の一部を改定し、平成26年4月1日から引き上げることとなりました。

2014年1月13日 10:30  
ホームページ閲覧障害のお知らせ  
1月12日午後5時から1月13日午前10時頃まで、システム障害により、ホームページが閲覧できませんでした。ご利用の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

2014年1月13日 10:30  
ホームページ閲覧障害のお知らせ  
1月12日午後5時から1月13日午前10時頃まで、システム障害



トリピーメール情報(最新10件)

2014年1月21日 11:36  
地方海上警報

2014年1月21日 10:13  
気象注意報

2014年1月21日 05:41  
地方海上警報

2014年1月20日 23:39  
地方海上警報

2014年1月20日 20:33  
気象注意報

2014年1月20日 17:35  
地方海上警報

共通IDの管理

電力情報

健康情報

健康情報の閲覧前にこちらから新デザインに移行してください。

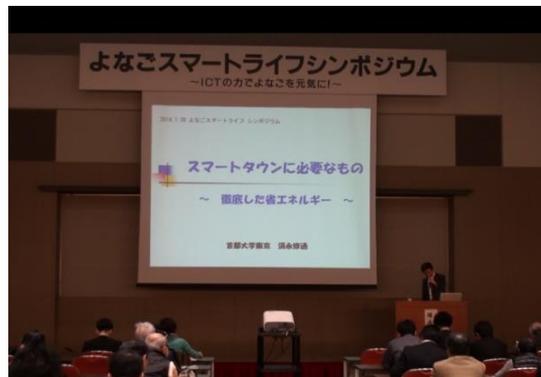
©yonago ict.

©yonago ict.

# シンポジウム・取材・広報

# シンポジウムに市民150名が参加

平成26年1月30日開催



## 省エネシフトと地域活性化 独の両立事例解説

環境に優しい持続可能な地域づくりを考える「よなごスマートライフシンポジウム」が1月30日、米子コベリオンセンターで開かれた。ドイツ在住の環境ジャーナリスト、村上敦氏が「地域を豊かにするエネルギーシフト」と題して講演。

エネルギー分野の事業が開いた。約150人が参加した。村上氏は、2050年までに「脱化石エネルギー」の目標を掲げるドイツの取り組みを紹介。「建物の循環ボンプを省エネ型に変更、フラインドを窓の外に設置するなど身近な部分から着手した。

エネルギーシフトで地域経済活性化を図る必要性を説く村上氏

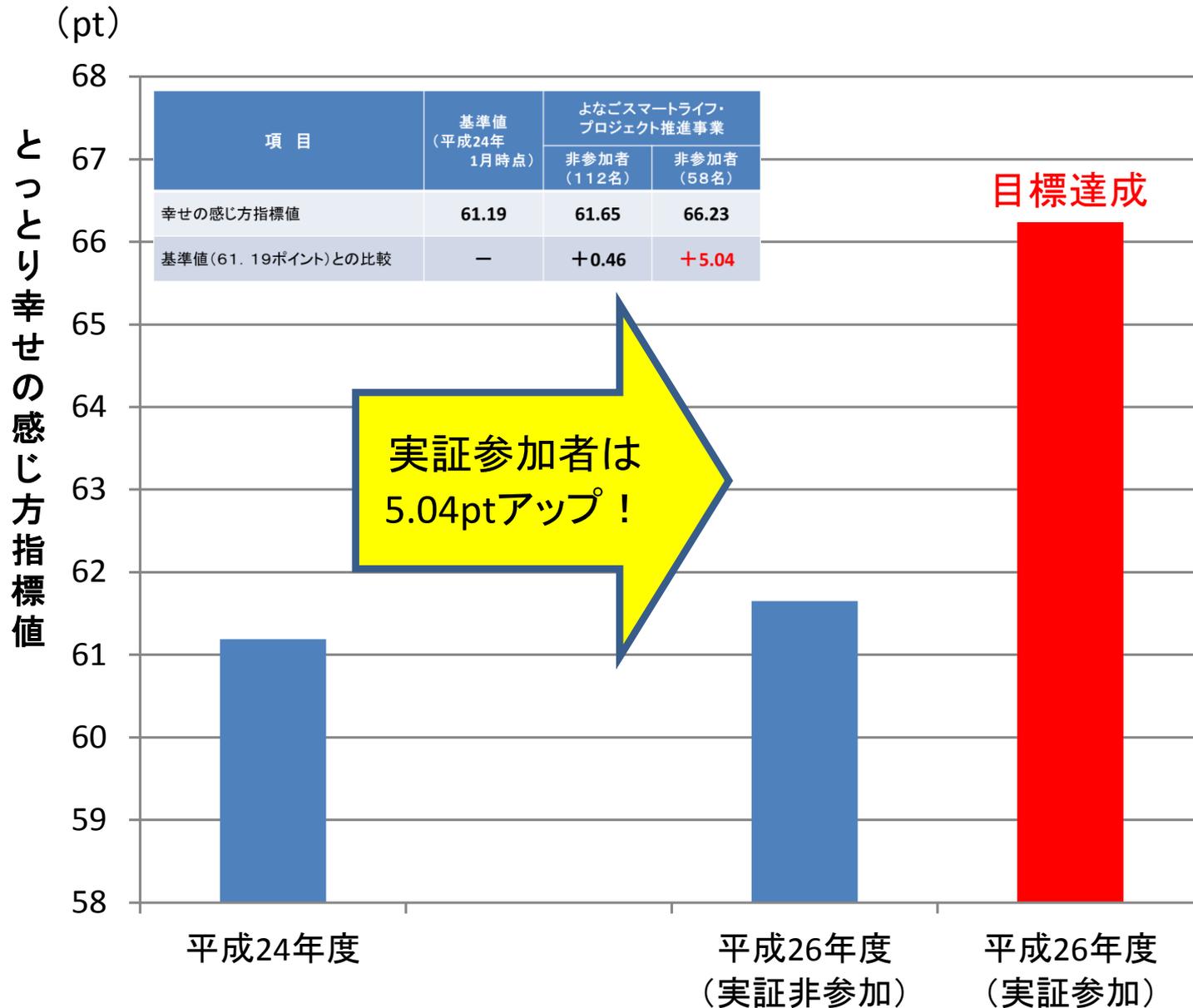
「エネルギーシフトで地域経済活性化を図る」として年間約300億円が県外の企業に流出している」と試算。「住民や地元企業が地域の未来に投資するような感覚でエネルギー分野の事業を地元で打ち立てれば、300億円規模のプロジェクトとなる」と地元が関わることの有効性を強調した。

パネル討議には中海テレビ放送の秦野一憲社長らが参加。秦野社長は「災害情報など、さまざまな情報をケーブルテレビを通してそれぞれの人に合った形で発信できるように検討している」と事業の中で自社が担う役割を説明した。



# 事業評価と今後の展開

# 指標値目標2.5アップに対し、5.04ptアップ



# 今後は、実証成果を活かしてサービス展開

## エネルギー分野

- ・ 地域エネルギーサービス事業として商用化

## 健康づくり分野

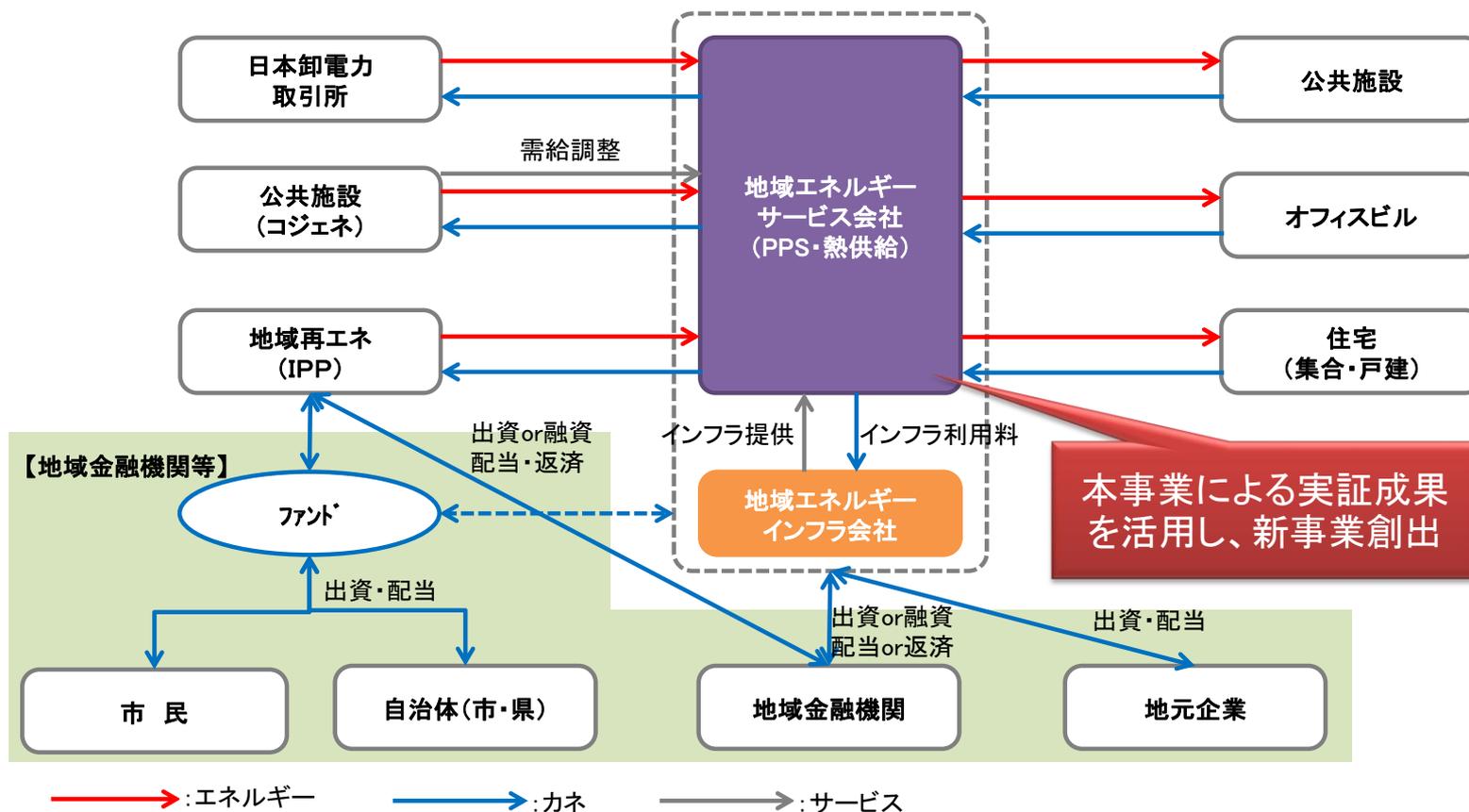
- ・ 商用化に向けて、自動データ登録に関する課題解決の必要あり

## 防災・減災分野

- ・ 公共情報コモンズとの連携により、ケーブルテレビ、ホームページ、アプリ等での情報提供サービスを開始予定

# 地域エネルギーサービス会社の設立へ

- 米子市では、地域エネルギーサービス会社、地域エネルギーインフラ会社を設立し、新たな産業を創出する計画を検討中



注) 上記モデルは、PPSを中心としたエネルギー需給の関係を示している。このため、送配電事業の記載は省略している。